

23rd KAWASAKI



しんゆり映画祭 2017

10.29 [日]、10.31 [火] → 11.5 [日]

川崎市アートセンター アルテリオ映像館・小劇場 / イオンシネマ新百合ヶ丘

よ
う
こ
そ

映画新世界へ！



最新情報はWEBで! <http://www.siff.jp>

【主催】NPO法人KAWASAKIアーツ 【共催】川崎市、川崎市アートセンター(川崎市文化財団グループ)、川崎市教育委員会、日本映画大学、(一財)川崎新都心街づくり財団、昭和音楽大学 【後援】「映像のまち・かわさき」推進フォーラム、麻生区文化協会、(公財)川崎市生涯学習財団、NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり、朝日新聞川崎支局、毎日新聞川崎支局、読売新聞川崎支局、産経新聞社横浜総局、東京新聞、FMヨコハマ、かわさきFM(79.1MHz)、(株)タウンニュース社、マイタウン、(株)メディスタクラシの恋新聞社、(株)ジェイコムイースト 町田・川崎局 【協賛・協力】小田急電鉄(株)、大和ハウス工業(株)、麻生区商店会連合会、(株)エーイーティー、(有)柿生恒産、川崎信用金庫、(株)川崎フロンターレ、新百合ヶ丘農住都市開発株式会社、ホテルモリノ新百合ヶ丘、(株)カジノヤ、川崎商工会議所、河津造船土木株式会社、小田急新百合ヶ丘エルミロード、新百合ヶ丘商店会、セレサ川崎農業協同組合、(株)谷川建設、(株)フジ薬局、三井ホーム(株)、川崎医療生活協同組合 あさお診療所、尊賢堂、カンガルー、アジア料理JASMINE、Ti-da Bar、パティスリーエチエンス、香港飲茶料理シノワーズ、ノボルノバル、(株)北島工務店、イオンシネマ新百合ヶ丘、イオン新百合ヶ丘店



映画祭のみどころ

川崎市アートセンター 10周年おめでとう しんやり凱旋！ 中野量太監督特集

昨年劇場公開され、大きな話題となった『湯を沸かすほどの熱い愛』。川崎市アートセンターでもロングラン上映されました。日本映画学校（現・日本映画大学）の出身でもあり、この地にとっても縁が深い中野量太監督。上映機会の少ない作品も含め、4作品を引っさげ、満を持してしんやかに凱旋です！



湯を沸かすほどの熱い愛



10.29 [日] 10:00 小劇場 **★ゲスト 中野量太監督 (予定)**
11.1 [水] 13:10 小劇場

2016年/日本/125分
監督・脚本:中野量太
出演:宮沢りえ、杉咲花、オダギリジョー

©2016「湯を沸かすほどの熱い愛」製作委員会

余命 2ヶ月を宣告された母・双葉。「私には死ぬまでにすべきことがある」。それは家出した夫を連れ帰り家業の銭湯「幸の湯」を再開すること。娘を独り立ちさせること。双葉のその行動は家族の絆を取り戻していき…。

同時上映 琥珀色のキラキラ



2009年/日本/30分
監督・脚本:中野量太
出演:尾野真千子、松原菜野花、小市慢太郎
「ndjc:若手映画作家育成プロジェクト」製作
実地研修完成作品

©2009 VIPO

ちょっと内気な中学 1 年生の涼子は、父・省三と二人暮らし。そんな藍沢家に、突然、関西弁を話す道子さんがやって来た。

沈まない三つの家



11.1 [水] 10:30 小劇場
11.5 [日] 17:30 映像館 **★ゲストトーク (予定)**

2013年/日本/69分
監督・脚本・編集:中野量太
出演:松原菜野花、椎名琴音、橋本拓也

©2013 kohakuro cinema / 手島昭一

大きな川が流れる街に住む三つの家族の物語。
“川は昨日へと流す、悲しみも喜びも…”

同時上映 お兄ちゃんは戦場に行った!?



2013年/日本/29分
監督・脚本・編集:中野量太
出演:小宮一葉、内村 蓮

©2013 kohakuro cinema / 手島昭一

4年間引き籠っていた兄は、カメラマンになる夢を見つけ、妹だけが持っている「幸運の御守り」をもらいに妹のもとへ向かう。

山田孝之の“しんやり映画祭”

カンヌ映画祭の
その先

ドキュメンタリードラマ『山田孝之のカヌヌ映画祭』は2017年上半期の映画界に旋風を巻き起こし、大きな話題となりました。第2話では日本映画大学や川崎市アートセンターが登場、この地域ならではの上映です。今回、本作の全話一挙上映を行うとともに、関連作品『映画 山田孝之3D』を新百合ヶ丘で初上映します！

山田孝之のカヌヌ映画祭 川崎新都心街づくり財団 presents



©「山田孝之のカヌヌ映画祭」製作委員会
2017年/日本/各24分(全12話)
監督:山下敦弘、松江哲明/構成:竹村武司
出演:山田孝之、芦田愛菜、山下敦弘

10.29 [日] 14:40 小劇場
★ゲスト 松江哲明監督 (予定)

俳優の山田孝之が、映画監督の山下敦弘を呼び出し「世界最高峰のカヌヌ映画祭で賞をとりたい」と告げることから始まるアツい夏。こうした作品製作の過程を山下監督と、松江哲明監督の二人が作品化したドキュメンタリードラマ。

映画 山田孝之3D



©2017「映画 山田孝之」製作委員会
2017年/日本/77分/3D上映
監督:松江哲明、山下敦弘
出演:山田孝之
友情出演:芦田愛菜

11.2 [木] 19:00
イオンシネマ新百合ヶ丘
★ゲスト 松江哲明監督 (予定)

『山田孝之のカヌヌ映画祭』から生まれた“カンヌ映画祭正式応募作品”。俳優・山田孝之が、幼少期の思い出や初恋、芝居、家族、死生観に至るまでを自ら赤裸々に語る。摩訶不思議な“山田孝之ワールド”を3Dで体感できる。

人生の先輩にカンバイ!

ミリキタニの猫 《特別篇》



Photo by Hiroko Masuike

ミリキタニの猫

2006年/アメリカ/74分/ドキュメンタリー
監督・製作・撮影・編集:リンダ・ハッテンドーフ
製作・撮影:マサ・ヨシカワ
出演:ジミー・ミリキタニ、ロジャー・シモムラ

同時上映

ミリキタニの記憶

2016年/日本/21分/
ドキュメンタリー
監督・製作:Masa

11.2 [木] 15:10 映像館

11.4 [土] 12:20 映像館

★ゲストマサ・ヨシカワ
プロデューサー (予定)

ジミー・ミリキタニは、ニューヨークで路上生活を送る日系人画家。第二次大戦中、日本人収容所に送られ、広島の前爆で母方の家族を失い、そして2001年9月11日、彼はどうなったのか? 反骨精神を貫き通した、カッコいいじいさんのロードムービー。

人生フルーツ



© 東海テレビ放送

2016年/日本/91分/ドキュメンタリー
監督:伏原健之/ナレーション:樹木希林
出演:津端修一、津端英子

11.2 [木] 10:30 小劇場

11.4 [土] 10:30 小劇場

愛知県のあるニュータウンの一隅、雑木林に囲まれた平屋に住む津端夫妻は、自宅で70種の野菜と50種の果物を作るほぼ自給自足の生活をしている。かつて日本住宅公団に勤めていた90歳の夫・修一さんに、ある建築設計の依頼が来る…。

上映作品
紹介



飯館村の母ちゃんたち 土とともに



© 古居みずえ

2016年/日本/95分/ドキュメンタリー
監督・撮影:古居みずえ
出演:菅野榮子、菅野芳子

10.31 [火] 16:50 小劇場

11.3 [金・祝] 13:40 映像館

飯館村の榮子さんらは、震災後の仮設住宅の畑でも作物を育て、故郷の伝統食を人々に伝え続けた。長い避難生活が解除された時、守り通されたものと断ち切れてしまったものは? 彼女たちの何気ない会話にちゃんと耳をすまそう。魂のジーン・バンク (遺伝子銀行) の物語。

Start Line <バリアフリー日本語字幕付上映>



© Studio AYA

2016年/日本/112分/ドキュメンタリー
監督・撮影・編集・出演:今村彩子
撮影:堀田哲生

11.1 [水] 13:10 映像館 [空]

11.5 [日] 10:00 映像館 [空] ★ゲスト
今村彩子監督 (予定)

ろう者の監督・今村がイメージしたのは人々とふれあいながら沖縄から北海道へ自転車旅をするロードムービー。実際は毎日70キロ漕ぎ、予想外の連続。「出会いのチャンスを自分でつづけている」と伴走者の堀田から叱責され、泣いたり怒ったりの日々。

しゃぼん玉 <副音声イヤホンガイド付上映>



©2016「しゃぼん玉」製作委員会

2016年/日本/108分
監督・脚本:東 伸児/原作:乃南アサ
出演:林 遣都、市原悦子、藤井美菜

10.31 [火] 12:40 映像館 [空]

11.3 [金・祝] 10:30 小劇場 [空] ★ゲスト
東 伸児監督 (予定)

親に見捨てられ、女性や老人だけを狙った通り魔や強盗傷害をくり返してきた、伊豆見翔人。人を刺し、逃亡中に迷い込んだ宮崎島の山深い椎葉村。怪我をした老婆スマを助けたことがきっかけで、翔人の何かが変わっていく。
※バリアフリーシアターのご利用方法は裏面をご覧ください

マレビト 異界からの来訪者

哭声/コクソン



©2016 TWENTIETH CENTURY FOX FILM CORPORATION

2016年/韓国/156分
監督・脚本:ナ・ホンジン
出演:クァク・ドウォン、ファン・ジョンミン、國村隼

10.31 [火] 13:30 小劇場

11.5 [日] 10:30 小劇場 ★ゲストトーク (予定)

山間の平和な村で起こる、村人自身が家族全員を惨殺する連続殺人事件。その犯人の目は必ず白濁し、肌は湿疹でただれていた。事件を捜査する警官ジョングは、やがて山の奥で暮らす日本人の存在を知る。

永い言い訳



©2016「永い言い訳」製作委員会

2016年/日本/124分/PG12
監督・原作・脚本:西川美和
出演:本木雅弘、竹原ピストル、深津絵里

11.2 [木] 15:50 小劇場

11.5 [日] 15:00 小劇場

人気作家の津村啓こと衣笠幸夫は、長年連れ添った妻を突然の事故で亡くしてしまう。留守中に不倫していた幸夫だったが、世間に対して悲劇の夫を演じるしかない。そんなとき妻と一緒に亡くなった、妻の親友の家族に出会う。

淵に立つ



©2016映画「淵に立つ」製作委員会/COMME DES CINEMAS

2016年/日本・フランス/119分
監督・脚本:深田晃司/出演:浅野忠信、筒井真理子、古館寛治

郊外で工場を営む夫婦とその娘。平穏な毎日を送る家族の前にある日、夫の古い知り合いだという男が現れる。夫は、妻に断わりもなく男を雇い入れ、自宅の空き部屋に住ませる。すると不穏な歯車が回り始める。

同時上映 鳥(仮)



© 深田晃司映画まつり

2016年/日本/7分

監督・脚本:深田晃司
出演:井上三奈子、金子岳憲、木引優子

部屋で男が女に詰問されている。窓辺には別の女性がいる。どうやら男がその女を部屋に連れ込んだようだが…。

ジュニア映画制作 ワークショップ 2017



今年は28名の中学生が参加し、脚本・撮影・編集・完成までの映画制作を行った同ワークショップ。過去最長の映画作品が完成しました。4人の主人公が織り成す群像劇をお楽しみください。

ハッピーエンドを君に <入場無料>



11.3 [金・祝]
14:50 小劇場

★メイキング映像の
上映、舞台挨拶など

©2017 Kawasaki Shinyuri Film Festival

2017年/日本/48分 制作:Movie Cats

「神崎真くんが亡くなりました」。突然告げられたクラスメイトの死。その日、彩羽は大切だったものを捨てる。優香は小説を書くことになる。楓は不思議な少年に出会う。中学生が描く青春群像劇。

おめでとう!

釜山国際子供・青少年映画祭
入賞凱旋上映

学校は二度死ぬ <入場無料>



11.3 [金・祝]
12:00 映像館

★舞台挨拶

©2016 Kawasaki Shinyuri Film Festival

2016年/日本/34分 監督・脚本:石井理子/制作:ちーむ カノなべ
秋宮未来は同級生 4 人と共に突然、誰もいない中学校に閉じ込められてしまう。彼らは、そこである理由から映画を作り始めることになり…。

注目!今アツい監督たち

スプリング、ハズ、カム



11.1 [水]
16:50 小劇場

★ゲスト
吉野竜平監督 (予定)

11.3 [金・祝]
17:30 小劇場

©「スプリング、ハズ、カム」製作委員会

2015年/日本/102分

監督・脚本:吉野竜平/脚本:本田誠人

出演:柳家喬太郎、石井杏奈

広島から上京し、春から成城大学に通う璃子は一人暮らしの部屋探しのために、父の肇と共に東京へやって来た。部屋を決めた後、2人は引っ越し先の街・祖師ヶ谷大蔵を歩く。一人娘が自立していく春はもうすぐそこ。

はらはらなのか。



10.31 [火]
10:00 映像館

11.3 [金・祝]
17:00 映像館

★ゲスト (予定)
酒井麻衣監督・
原菜乃華 (女優)

©2017「はらはらなのか」製作委員会

2017年/日本/100分

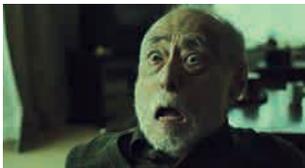
監督・脚本:酒井麻衣

出演:原菜乃華、松井玲奈、吉田凜音

亡き母・マリカに憧れて女優を目指すも、なかなかオーディションに受からない少女・原ナノカ。引っ越し先の田舎町で、かつて母が出演した舞台の再公演があると知り、まわりに内緒でその公演のオーディションに挑む。

おすすめ短編三本立て

サイレン



©クロマリスム

2017年/日本/17分

監督:三宅伸行

出演:津川雅彦、ハミッド・メッハリ・シーラマード

郊外の団地。突如サイレンが響き渡る中、アラブ系移民のアップバスは、隣の老人、豊重の家に押し入る。

墮ちる



©kazuya murayama

2016年/日本/32分

監督・脚本:村山和也

出演:中村まこと、錦織めぐみ、古川順

老舗織物工場で働く寡黙な職人の耕平は、ひょんなことから地下アイドルの「めめたん」にハマっていき…。

そうして私たちは プールに金魚を、



©MOON CINEMA PROJECT

2016年/日本/27分

監督・脚本:長久 允

出演:湯川ひな、松山莉奈、菊地玲那、西本まりん

狭山市にある中学校のプールに400匹の金魚が放たれた。犯人である4人の女子中学生が金魚を放った理由とは？

しんやり洋画セレクション

スウィート 17 モンスター



10.31 [火]
10:30 小劇場

11.1 [水]
18:00 映像館

©MMXXI STX Productions, LLC. All Rights Reserved.

2016年/アメリカ/104分/PG12

監督・脚本:ケリー・フレモン・クレイグ

出演:ヘイリー・スタインフェルド、ウディ・ハレルソン、キラー・セジウィック

17歳のネイディーンは、恋に恋する妄想がいつも空まわりして、周囲の大人を困らせてばかりいる。親友のクリスタだけが自分の支えだと思っていた。そんなクリスタまでもが自分の兄と恋におちてしまい、ますます窮地に…。

ノー・エスケープ 自由への国境



11.1 [水]
15:40 映像館

11.4 [土]
10:00 映像館

©2016 STX Financing, LLC. All Rights Reserved.

2015年/メキシコ・フランス/88分/PG12

監督・脚本・編集・製作:ホナス・キュアロン/脚本:マテオ・ガルシア

出演:ガエル・ガルシア・ベルナル、ジェフリー・ディーン・モーガン

メキシコとアメリカ国境の灼熱の砂漠地帯。モイセスは息子に会うため、そして他の移民たちもそれぞれの思いを抱えて徒歩で不法入国を試みる。彼らを襲う突然の銃撃。自由の国を目指す者たちの命懸けの逃走劇が始まる。

T2 トレインスポットینگ



11.2 [木]
13:10 小劇場

11.4 [土]
14:00 小劇場

©2017 CTMG. All Rights Reserved.

2017年/イギリス/117分/R15+

監督:ダニー・ボイル/脚本:ジョン・ホッジ

出演:ユアン・マクレーグ、ユエン・プレムナー、ジョニー・リー・ミラー、ロバート・カーライル

仲間を裏切り大金を持ち逃げした男、レントンが20年ぶりに故郷スコットランドに帰ってきた!親友だったスバッド、サイモン、ベグビーとも再会。四十路を過ぎたダメ男たち、まだまだ走ります。

ツィゴイネルワイゼン



11.1 [水]
10:00 映像館

11.5 [日]
13:30 映像館
★ゲスト (予定)
佐藤忠男 (映画評論家)

©ツィゴイネルワイゼン

1980年/日本/144分
監督:鈴木清順/脚本:田中陽造/原作:内田百閒
出演:原田芳雄、大谷直子、藤田敏八、大楠道代

士官学校教授の青地と、元同僚で無頼漢の友人・中砂は、旅先の宿で小稲という芸者と出会う。一年後、中砂から結婚の知らせを受けた青地は、名家の娘である新妻の園が小稲に瓜二つであることに驚く。

東京流れ者



©日活

1966年/日本/83分
監督:鈴木清順/原作・脚本:川内康範
出演:渡 哲也、松原智恵子、川地民夫

ヤクザ稼業から不動産業へと鞍替えした倉田組の哲也は、恋人の千春と結婚し、ヤクザをやめる決意をしていた。しかし、敵対する大塚組の執拗な攻撃が千春にまで及んだとき、哲也の怒りが炸裂する。

けんかえれじい



©日活

1966年/日本/86分
監督:鈴木清順/脚本:新藤兼人
出演:高橋英樹、浅野順子、川津祐介

昭和初期、岡山中学の南部麒六は「喧嘩キロク」とあだ名されるほどの喧嘩好きがたり、放校処分となって会津に転校。下宿屋の娘・道子に想いを寄せつつ、その地でも腕っぶしひとつのし上がっていく。

↑保育付上映 (↑)副音声イヤホンガイド付上映 (≡)バリアフリー-日本語字幕付上映 ★ゲストトークは40分間の予定です

上映日	上映時間	上映館	上映内容
10.29 [日]	10:00	小劇場	湯を沸かすほどの熱い愛・琥珀色のキラキラ
	14:40	映像館	山田孝之のカンヌ映画祭 ※途中休憩あり
10.31 [火]	10:00	映像館	はらはらなのか。
	12:40	映像館	しゃぼん玉
10.31 [火]	15:10	映像館	東京流れ者
	17:20	映像館	けんかえれじい
10.31 [火]	10:30	小劇場	スウィート 17 モンスター
	13:30	小劇場	哭声/コクソン
10.31 [火]	16:50	映像館	飯館村の母ちゃんたち 土とともに
	19:10	映像館	サイレン・墮ちる・ そうして私たちはプールに金魚を、
11.1 [水]	10:00	映像館	ツィゴイネルワイゼン
	13:10	映像館	Start Line
11.1 [水]	15:40	映像館	ノー・エスケープ 自由への国境
	18:00	映像館	スウィート 17 モンスター
11.1 [水]	10:30	小劇場	沈まない三つの家・ お兄ちゃんは戦場に行った!?
	13:10	小劇場	湯を沸かすほどの熱い愛・ 琥珀色のキラキラ
11.1 [水]	16:50	小劇場	★ゲストトーク (予定)
	18:00	小劇場	スプリング、ハズ、カム
11.2 [木]	10:00	映像館	東京流れ者
	12:10	映像館	淵に立つ・鳥(仮)
11.2 [木]	15:10	映像館	ミリキタニの猫《特別篇》
	10:30	小劇場	人生フルーツ
11.2 [木]	13:10	小劇場	T2 トレインスポッティング
	15:50	小劇場	永い言い訳
11.2 [木]	19:00	イオンシネマ新百合ヶ丘	★ゲストトーク (予定)
	19:00	イオンシネマ新百合ヶ丘	映画 山田孝之3D
11.3 [金・祝]	10:00	映像館	けんかえれじい
	12:00	映像館	★舞台挨拶 学校は二度死ぬ 凱旋上映
11.3 [金・祝]	13:40	映像館	飯館村の母ちゃんたち 土とともに
	17:00	映像館	★ゲストトーク (予定) はらはらなのか。
11.3 [金・祝]	10:30	小劇場	★ゲストトーク (予定)
	14:50	小劇場	★舞台挨拶 【ジュニア映画制作ワークショップ】 ハッピーエンドを君に
11.3 [金・祝]	17:30	小劇場	スプリング、ハズ、カム
	10:00	映像館	ノー・エスケープ 自由への国境
11.4 [土]	12:20	映像館	★ゲストトーク (予定)
	15:40	映像館	★ゲストトーク (予定)
11.4 [土]	10:00	映像館	ノー・エスケープ 自由への国境
	14:00	映像館	ミリキタニの猫《特別篇》
11.4 [土]	16:50	映像館	★ゲストトーク (予定)
	17:30	映像館	★ゲストトーク (予定)
11.4 [土]	10:30	小劇場	人生フルーツ
	14:00	小劇場	T2 トレインスポッティング
11.4 [土]	16:50	小劇場	★ゲストトーク (予定)
	17:30	小劇場	★ゲストトーク (予定)
11.5 [日]	10:00	映像館	★ゲストトーク (予定)
	13:30	映像館	★ゲストトーク (予定)
11.5 [日]	17:30	映像館	★ゲストトーク (予定)
	10:00	映像館	Start Line
11.5 [日]	10:30	小劇場	★ゲストトーク (予定)
	15:00	小劇場	★ゲストトーク (予定)
11.5 [日]	10:30	小劇場	哭声/コクソン
	15:00	小劇場	永い言い訳

チケット購入方法 [日時指定・全席自由・整理番号付]

●川崎市アートセンター2F受付(前売券・当日券) 販売期間:10.7[土]-11.5[日]9:00-19:30

映画祭期間中は9:30より販売/前売券は上映日前日まで販売/10.10[火]は休館日のため販売はありません
11.2[木]チケット販売について:各種前売券・当日券は 9:30~17:00の販売/『映画 山田孝之3D』当日券については17:00以降、イオンシネマ新百合ヶ丘の特設窓口でも販売

●チケットびあ(前売券) 販売期間:10.7[土]10:00-10.27[金]

PCODE:557-545 川崎市アートセンター・アルテリオ映像館 Pコード:557-546 川崎市アートセンター・アルテリオ小劇場
PCODE:557-547 イオンシネマ新百合ヶ丘

購入方法	営業時間	支払方法	手数料
セブン-イレブン (マルチコピー機)	24時間対応	現金・各種クレジットカードなど	108円/枚
サークルK・サンクス (Kステーション)	5:30~26:00		
チケットびあ店舗	店舗により異なる	現金・各種クレジットカードなど	324円~
電話予約 0570-02-9999	24時間対応、予約後		
インターネット購入 http://t.pia.jp/cinema/	上記の店舗での発券		

<ATTENTION>

- 全席自由席・整理番号順入場・立見不可
- 全国共通鑑賞券使用不可
- 学生の方は当日券購入の際に学生証をご提示ください
- 上映時間、イベントなどは変更となる場合があります

- 前売券完売のプログラムについては、若干枚数当日券の用意あり
- チケットの払い戻し、交換、再発行不可

アルテリオ・シネマ会員の皆さまへ
映画祭上映作品はポイント対象外です
会員割引、招待券などの特典は利用できません

チケット料金	前売一律	当日	
		一般・シニア	大学生・専門学校生・高校生以下・障がい者・付添 (1名まで)
通常プログラム	1000円	1300円	1000円
『映画 山田孝之3D』	1300円	1600円	1300円
『山田孝之のカヌ映画祭』	2000円	2500円	2000円
『ハッピーエンドを君に』 『学校は二度死ぬ』		入場無料 当日整理券配布	

会場 川崎市アートセンター 〒215-0004 川崎市麻生区万福寺6-7-1
小田急線新百合ヶ丘駅北口徒歩3分/一般駐車場はございません
イオンシネマ新百合ヶ丘
〒215-0021 川崎市麻生区上麻生1-19-1イオン新百合ヶ丘ショッピングセンター6F

お問合せ・バリアフリー・シッター申込先
NPO法人KAWASAKIアーツ・映画祭事務局
〒215-0004 川崎市麻生区万福寺1-2-2 新百合21ビル2F
TEL 044-953-7652 FAX 044-953-7685
E-mail:cinema-uma@siff.jp HP:http://www.siff.jp

ごあいさつ

川崎市長

今年も開催にあたりまして、ご尽力いただいております関係者の皆様に心から感謝申し上げます。バリアフリー上映などの先進的な取組を、長年に渡り継続されておりますが、今年も、映画ファンをはじめ、地域の皆様や多くの方々に、映画を楽しんでいただけることを期待しています。

麻生区長

23回目の開催となるKAWASAKIしんゆり映画祭、関係者の方々の御尽力に感謝申し上げます。麻生区の夏の風物詩「野外上映会」、今年は初めてはるひ野で開催し、多くの皆様が映画を楽しまれました。これからも「芸術・文化のまちづくり」が麻生区全体に広がるよう取り組んでまいります。

映画祭代表 中山 周治

ようこそ、市民の手作り映画祭へ。みんなに見てもらいたい映画をとことん議論し、どう見せるかに知恵を出し合って今年で23年目。おかげさまで多くの皆様に愛されてきました。観て終りじゃもったいない。映画の深みにハマる仕掛けをたくさん用意しましたので、どうぞゆっくりして行って下さい。

バリアフリーシアターご利用方法

『Start Line』バリアフリー日本語字幕付上映

11.1[水]13:10 映像館

11.5[日]10:00 映像館 ★ゲスト今村彩子監督(予定)

『しゃぼん玉』副音声イヤホンガイド付上映

10.31[火]12:40 映像館

11.3[金・祝]10:30 小劇場 ★ゲスト東 伸児監督(予定)

『はらはらなのか。』保育付上映

10.31[火]10:00 映像館

『スイート17モンスター』保育付上映

10.31[火]10:30 小劇場

<聴覚に障がいのある方へ>要予約

『Start Line』イベント時に、手話通訳・要約筆記でトークをお楽しみいただけます。ご希望の方はFAXかメールで10月15日[日]までにご予約ください。

<視覚に障がいのある方へ>要予約

副音声ガイドはFMラジオで聴きます(機器無料貸出、持ち込み可)。新百合ヶ丘駅～劇場の送迎あり。駅待ち合わせは上映開始40分前。

<保育付上映ご利用の方へ>要予約

映画鑑賞中にお子さまをお預かりします。対象年齢:6ヶ月～満4歳/定員:合計5名/諸費用(保険代など):200円/保育アンケート有/保育場所:アートセンター3階/受付:上映開始30分前

<車イスの方へ>

会場には車イス席のご用意があります。介助も含め、お気軽にお声がけください。障がい者用駐車場1台分有(要予約)

予約方法 受付期間 10.7[土]-10.25[水]

受付時間 平日 11:00-18:00

※手話通訳・要約筆記をご利用の方は10.15[日]までにご予約ください。

以下の項目について、FAX・メール・お電話のいずれかで、タイムテーブル欄に記載しております本映画祭事務局までお申込みください。

①予約内容・副音声イヤホンガイド付上映(FMラジオ・送迎の有無)/保育付上映/手話通訳・要約筆記 ②鑑賞希望日時・作品名 ③チケット希望枚数 ④氏名 ⑤住所 ⑥連絡先(自宅電話/携帯番号/FAX番号/メールアドレス) ⑦副音声ガイド付上映の場合は、介助者の有無 ⑧保育:お子さまの年齢

・ご予約がない場合は入場できない可能性があります。
・チケットは当日、上映20分前までに会場にてご精算ください。
・キャンセルの場合は映画祭事務局までご連絡ください。
※通常の映画鑑賞の方はチケットのご予約はできません。

SHINYURI INFORMATION

川崎市文化財団×しんゆり映画祭 コラボレーション企画

会場:新百合トウェンティワンホール

11.5 [日] 第1部 12:00 開演 第2部 15:00 開演

2017.11.5

第1部 12:00開演(11:30開演)

第2部 15:00開演(14:30開演)

活弁映画と落語

シネマ落語 「ローマの休日」

主演 立川志らく

監督 萩原遼

新百合トウェンティワンホール

入場料 全席 前席 2,000円 後席 3,500円

予約受付 10月15日(日)まで

150万人都市記念 第35回あさお区民まつり

10.8 [日] 麻生区役所周辺

各種模擬店や名産品の販売、野外ステージでのパフォーマンスなど、今年もたくさんの催しでお迎えますので、皆様お誘いあわせの上、ご来場ください。

しんゆり北口マルシェ 2017

9.24 [日]・10.29 [日] 川崎市アートセンター前

新百合ヶ丘駅の北口を盛り上げようと、今年初めて開催されるプチマルシェ。各種飲食屋台などが並び、普段とは違った雰囲気を楽しめます。飲食スペースもあるので、ご家族でぜひ。

主催:新百合ヶ丘商店会 <http://www.shinyuri.net/>

第72回毎日映画コンクール

2018年2月中旬に表彰式開催

2017年を代表する作品(アニメ、ドキュメンタリーなどを含む)、俳優に加え、監督、脚本など製作スタッフを表彰します。表彰式は今年も川崎市内で実施予定。詳細は10月中旬以降、毎日新聞などで随時告知します。



KAWASAKIしんゆり映画祭
"シネマウマ"オリジナル
LINEスタンプ 配信中!

©Kawasaki Shinyuri Film Festival

第18回東京フィルメックス

11.18 [土]-11.26 [日] 有楽町朝日ホール他

アジアの若手によるコンペ部門、最先端の注目作が並ぶ特別招待作品に加え、充実の特集上映が実現。観客との質疑応答やトークイベントでは、映画と人との出逢いが"映画の未来へ"誘います。
www.filmex.net



kirara@アートしんゆり 2017

11.11 [土] 新百合ヶ丘駅南口 ベデストリアンデッキ

しんゆりの冬の風物詩であるイルミネーションが今年も街を彩ります。今年は点灯式を11.11[土]に、クリスマスイベントを12.16[土]に予定しています。

詳しくは

<http://kirara-shinyuri.com>

お問合せ先: kirara@アートしん

ゆり2017実行委員会

